

エネルギー使用合理化等事業者支援事業 成果報告

平成29年度

目次

- **平成29年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業の概要**
- **1章 申請・採択等の状況**
- **2章 事業区分ごとの分析**
- **3章 実績省エネルギー効果からの分析**

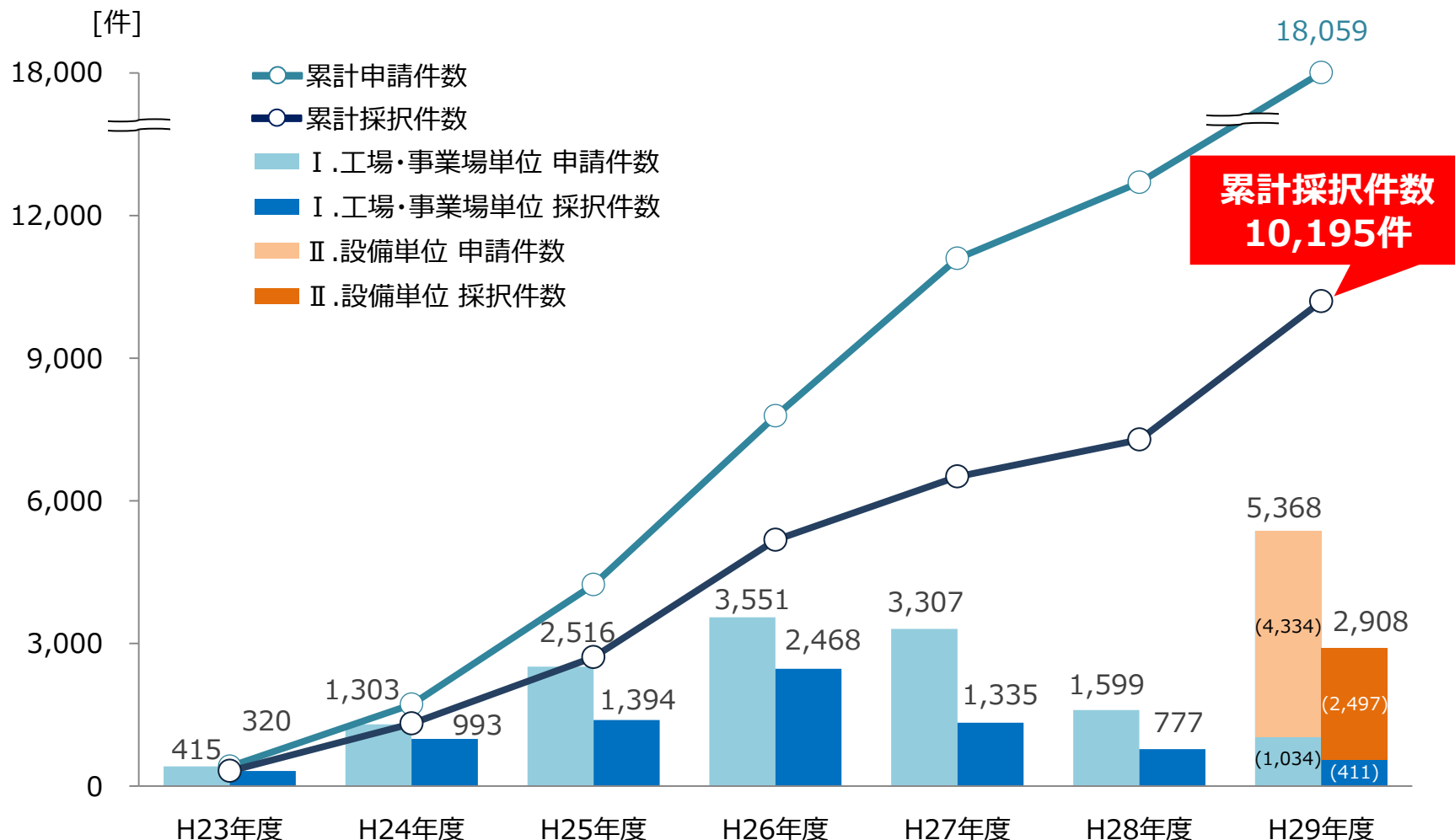
平成29年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業の概要

I.工場・事業場単位			II.設備単位
(ア) 省エネ事業	(イ) ピーク対策事業	(ウ) エネマネ事業	
省エネ率： 1%以上 省エネ量： 1,000kl以上 費用対効果： 200kl/1千万円 以上 I補助-消費原単位改善： 1%以上	ピーク対策効果率： 5%以上 ピーク対策効果量： 190万kWh以上 費用対効果： 80万kWh/1千万円 以上 ピーク対策原単位改善： 1%以上	EMSの制御効果と省エネ診断等の運用改善効果を合わせて 省エネ率： 2%以上 ピーク対策効果率： 10%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率照明 ・高効率空調 ・産業ヒートポンプ ・業務用給湯器 ・高性能ボイラ ・高効率コージェネレーション ・低炭素工業炉 ・変圧器 ・冷凍冷蔵庫 ・産業用モータ
補助率 1/3	補助率 1/3	補助率 1/2	補助率1/3 (設備費のみ)
<p>※事業区分 (ア) ~ (ウ) の単独、又は複数の組み合わせで申請可能</p> <p>※トプラランナー制度対象機器を導入する場合、<u>トプラランナー基準を満たす機器のみが補助対象</u></p> <p>※投資回収年が<u>5年以上</u>であること</p> <p>※エネルギー使用量が1,500kl以上の工場・事業場と中小企業に該当しない会社法上の会社(株式会社、合名会社、合資会社、合同会社、有限会社(みなし大企業を含む))はエネルギーの使用の合理化等に関する法律の<u>中長期計画等</u>に記載されている事業であること</p>			<p>※上記の設備区分に該当する設備であって、SIIが定めた基準を満たしていること</p>

1章 申請・採択等の状況

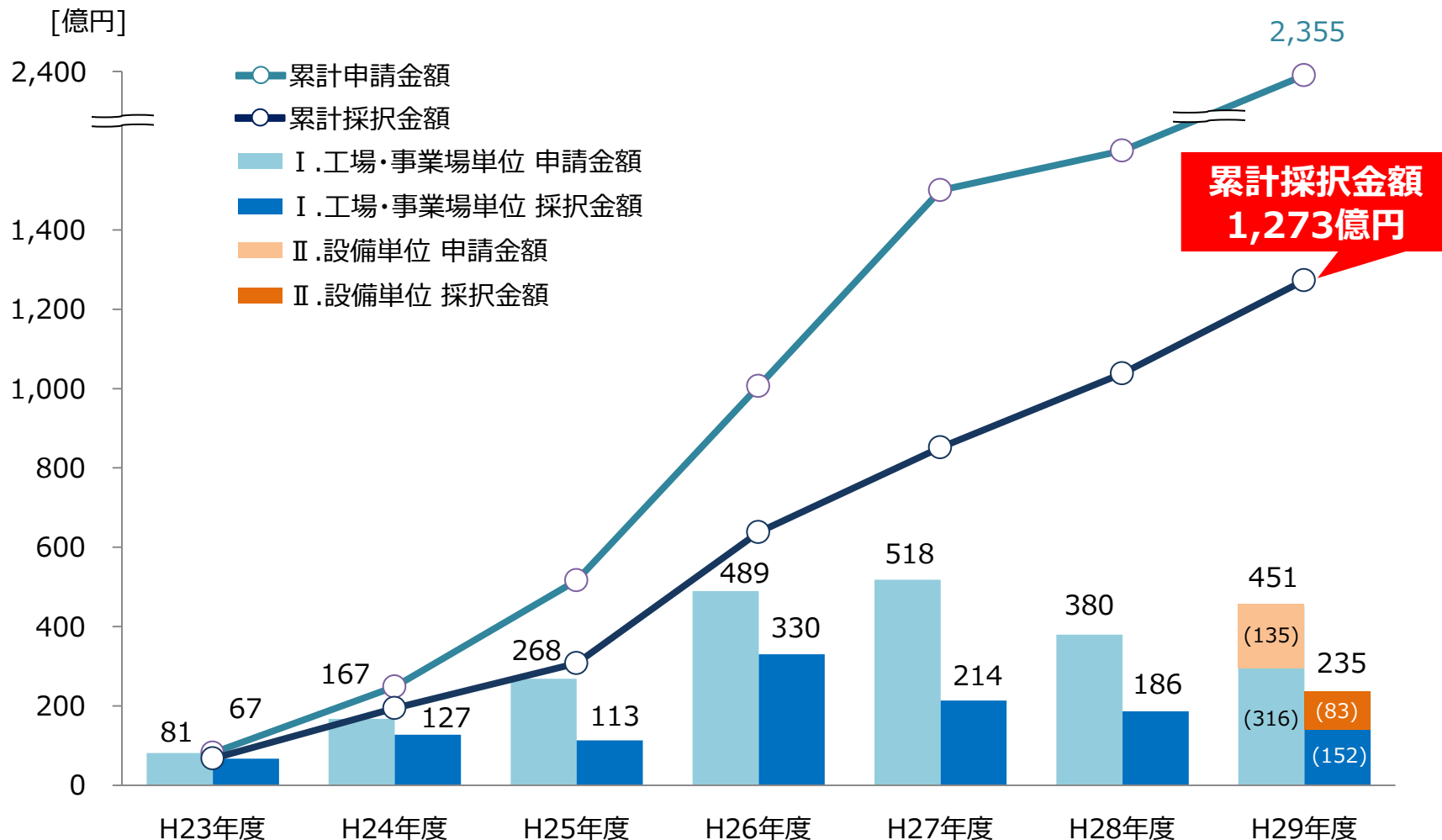
- 1-① 新規事業の申請・採択件数の推移
- 1-② 新規事業の申請・採択金額の推移
- 1-③ 新規事業の中小企業割合

1-① 新規事業の申請・採択件数の推移



◆ H23～H29年度における累計の申請件数は、約18,000件。累計の採択件数は、約10,200件。

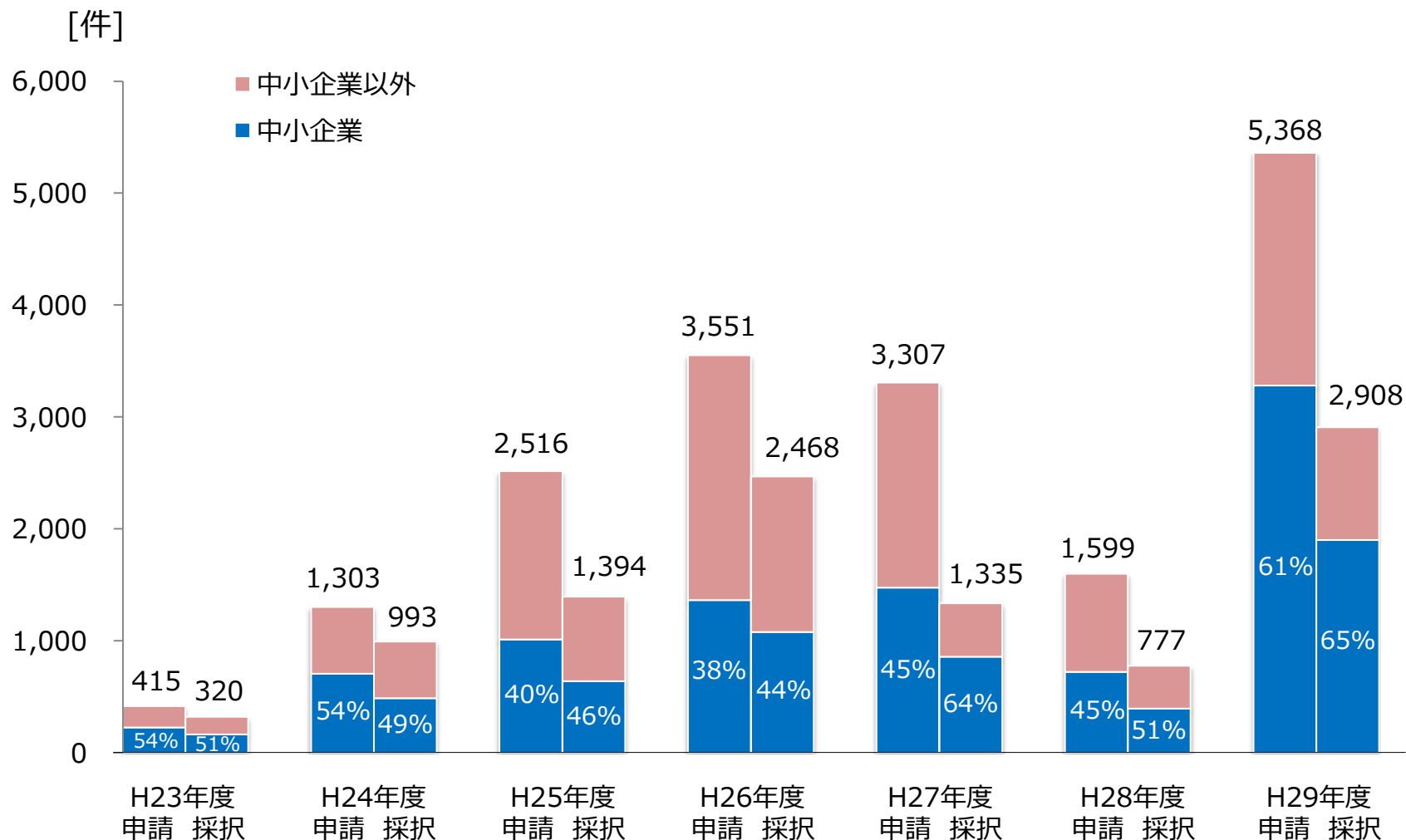
1-② 新規事業の申請・採択金額の推移



◆ H23～H29年度における累計の申請金額は **2,355億円**。
 累計の採択金額は、**1,273億円**。

※複数年度事業は1年目の補助金額のみを計上（2年目以降の補助金額は含まず）

1-③ 新規事業の中小企業割合

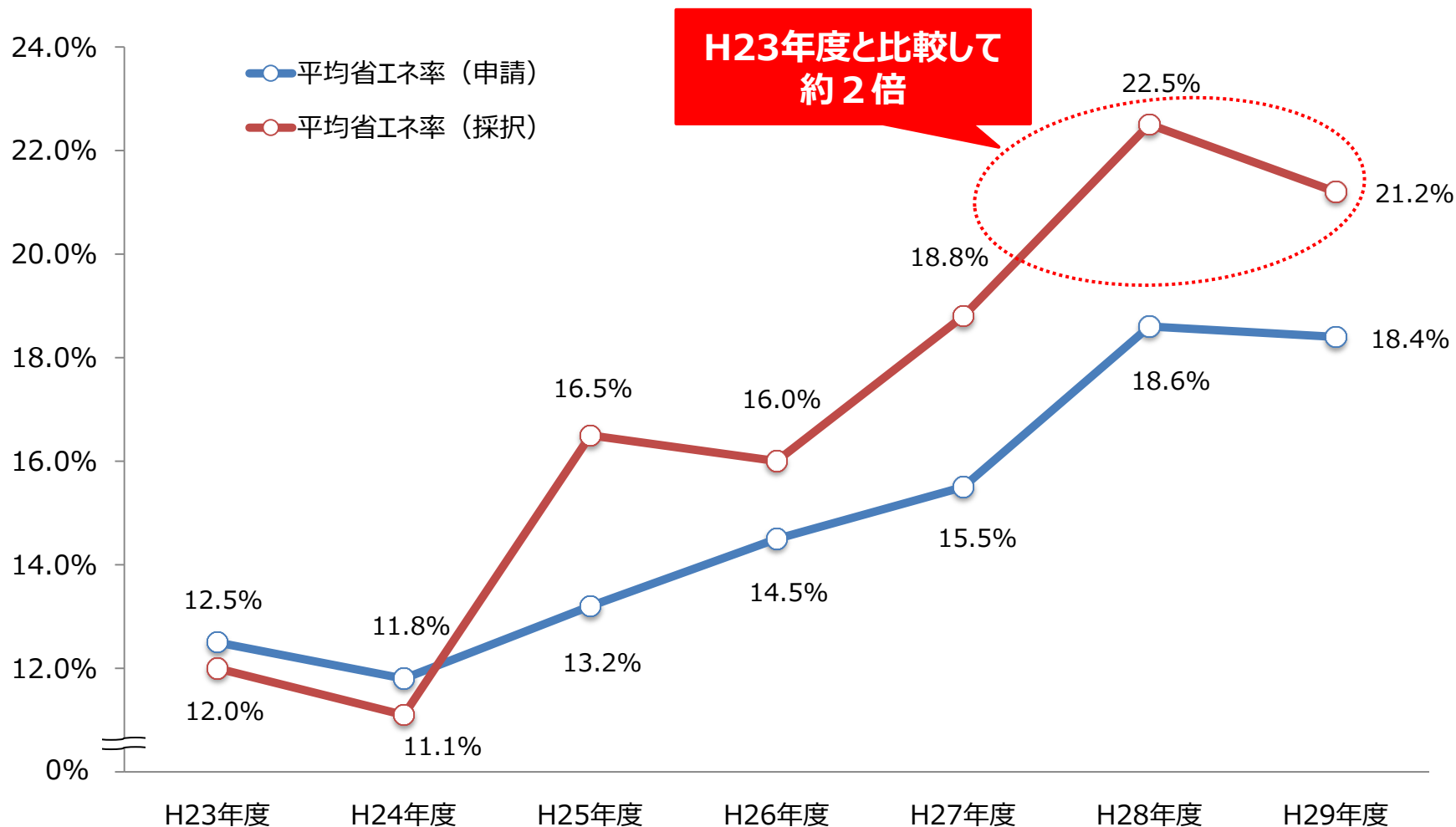


◆申請・採択とも、約半数が中小企業。

2章 事業区分ごとの分析

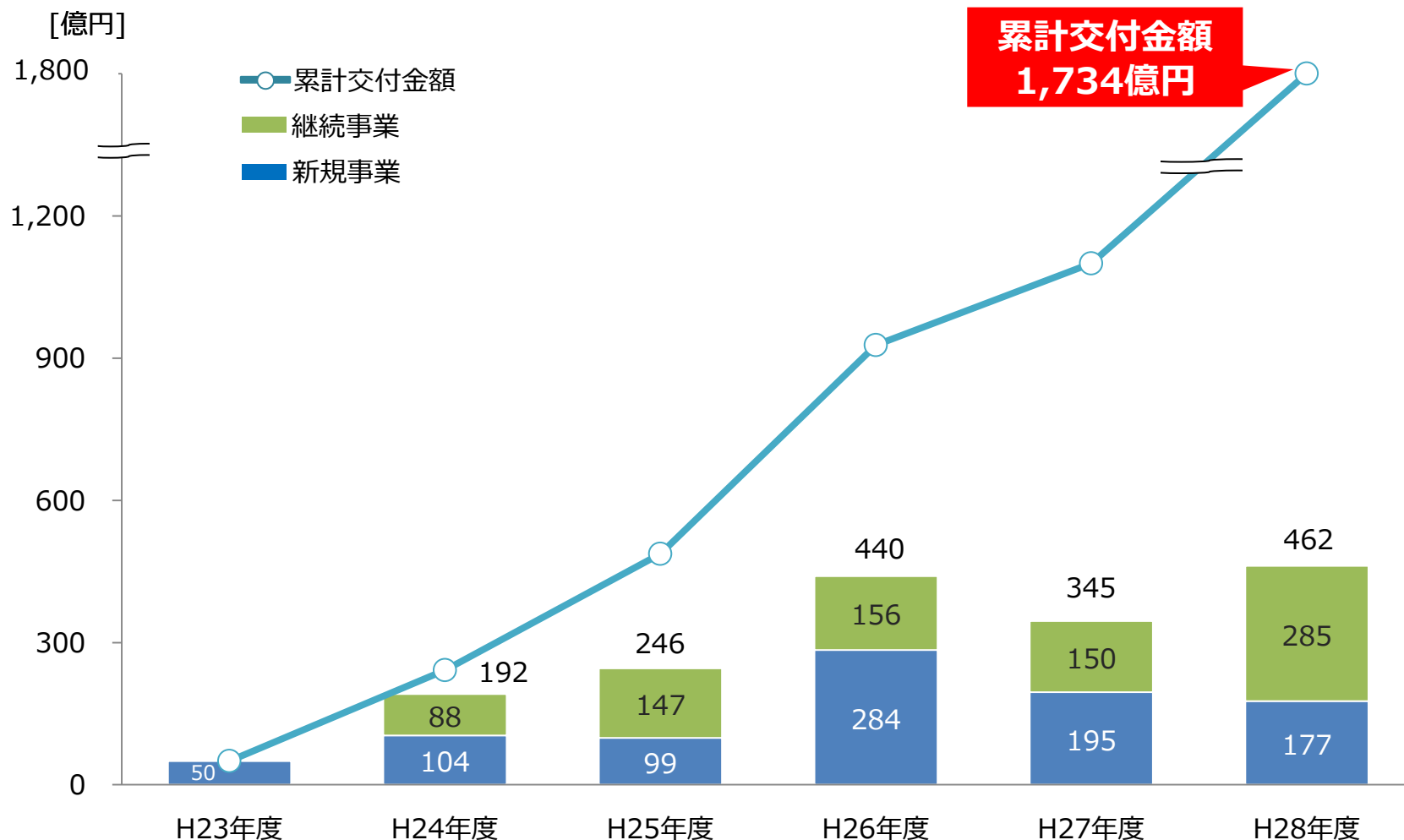
- 2-① I.工場・事業場単位の平均省エネルギー率
- 2-② I.工場・事業場単位の補助金交付実績
- 2-③ I.工場・事業場単位の更新設備比率
- 2-④ II.設備単位の申請・採択等の状況
- 2-⑤ II.設備単位の設備別平均省エネルギー率
- 2-⑥ II.設備単位の設備別平均省エネルギー量
- 2-⑦ II.設備単位の設備別平均費用対効果

2-① I.工場・事業場単位の平均省エネルギー率



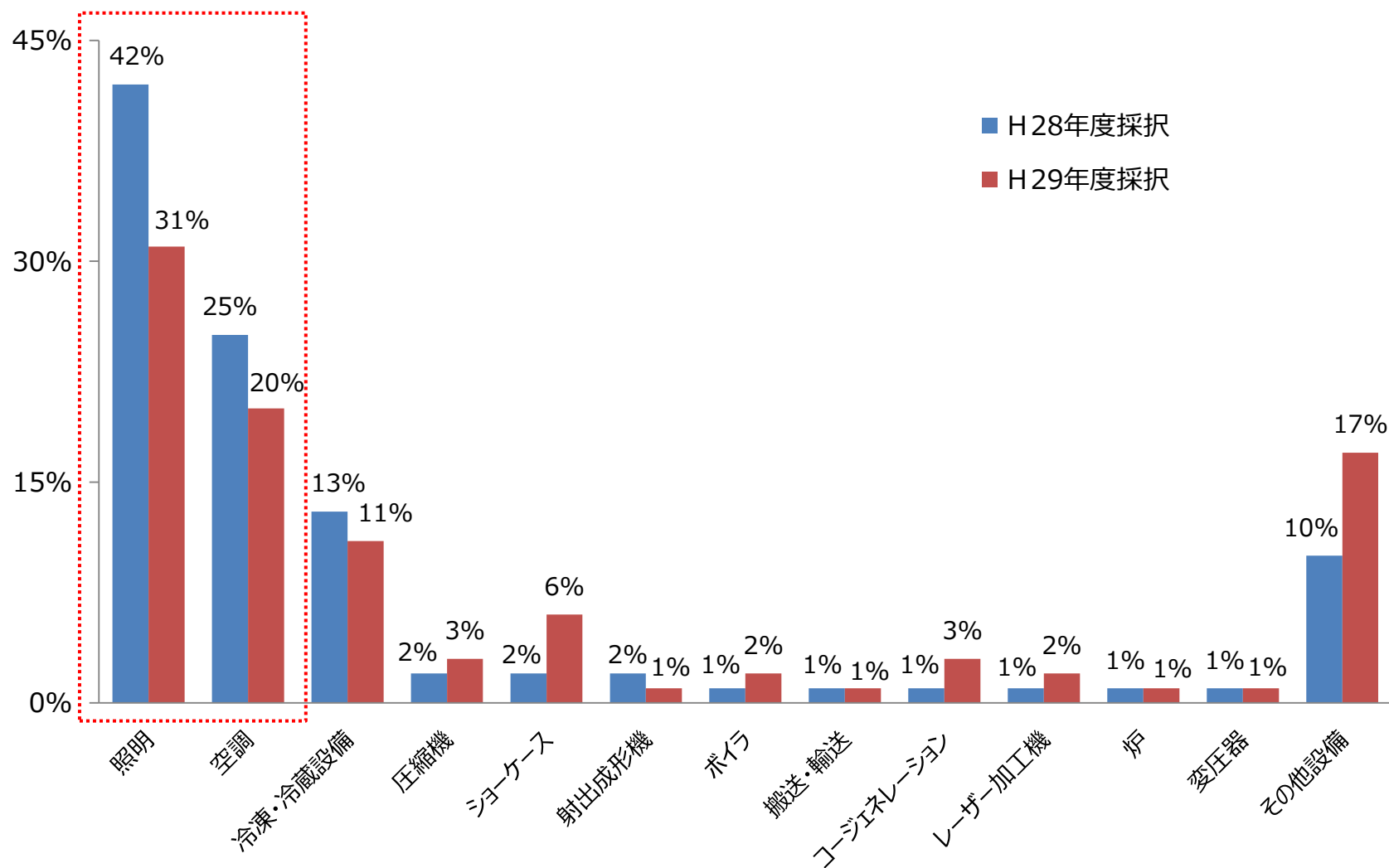
◆採択に係る1件あたりの平均省エネルギー率は、約2倍に上昇。

2-② I.工場・事業場単位の補助金交付実績



◆ H23～H28年度において、S I I が交付した補助金の累計額は、**1,734億円**。

2-③ I.工場・事業場単位の更新設備比率



◆ 区分Ⅱ.設備単位が創設されたことで、照明、空調の申請が分散。

2-④ II.設備単位の申請・採択等の状況

設備区分	申請件数	採択件数	採択率	平均省エネ率	平均省エネ量	平均費用対効果 (kl/千万円)
高効率照明	2,051	1,206	58.8%	59.5%	24.8kl	632.7
高効率空調	1,769	1,005	56.8%	46.6%	16.9kl	191.9
産業ヒートポンプ	3	1	33.3%	*	*	*
業務用給湯器	35	16	45.7%	23.1%	13.1kl	237.7
高性能ボイラ	444	255	57.4%	6.7%	22.3kl	212.7
高効率コジェネ	10	5	50.0%	16.3%	4.7kl	119.0
低炭素工業炉	41	25	61.0%	37.9%	85.3kl	188.5
変圧器	251	146	58.2%	43.9%	5.6kl	201.3
冷凍冷蔵庫	67	29	43.3%	59.8%	1.9kl	58.4
産業用モータ	269	156	58.0%	8.7%	7.4kl	144.6

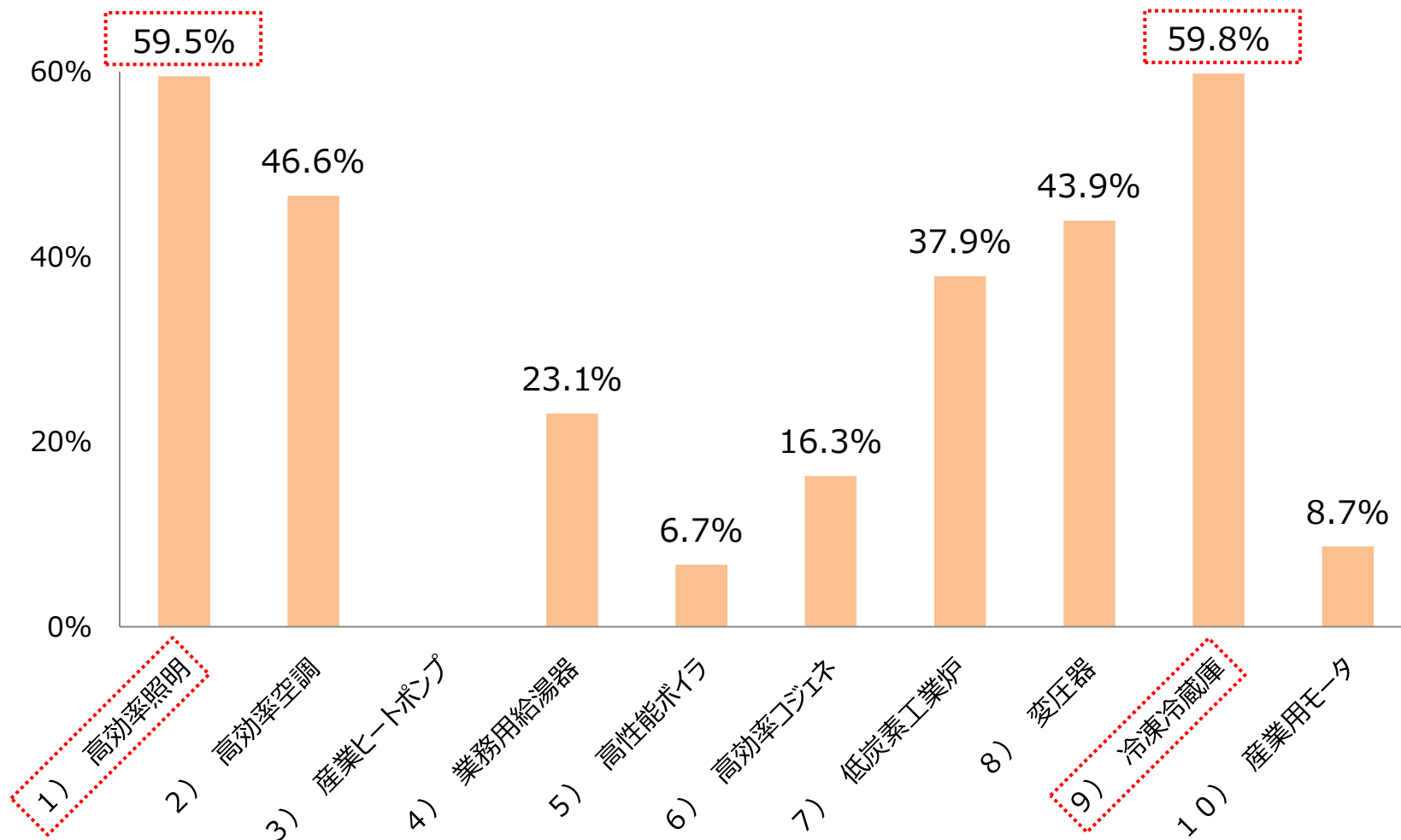
※ 上の表において、複数設備区分の申請は、設備区分ごとに1カウントしている

※ 平均費用対効果 = Σ (省エネルギー量[kl] × 最長法定耐用年数) / Σ 補助対象経費

※ 産業ヒートポンプは採択件数が1件であるため非公開

2-⑤ II.設備単位の設備別平均省エネルギー率

※採択事業ベース

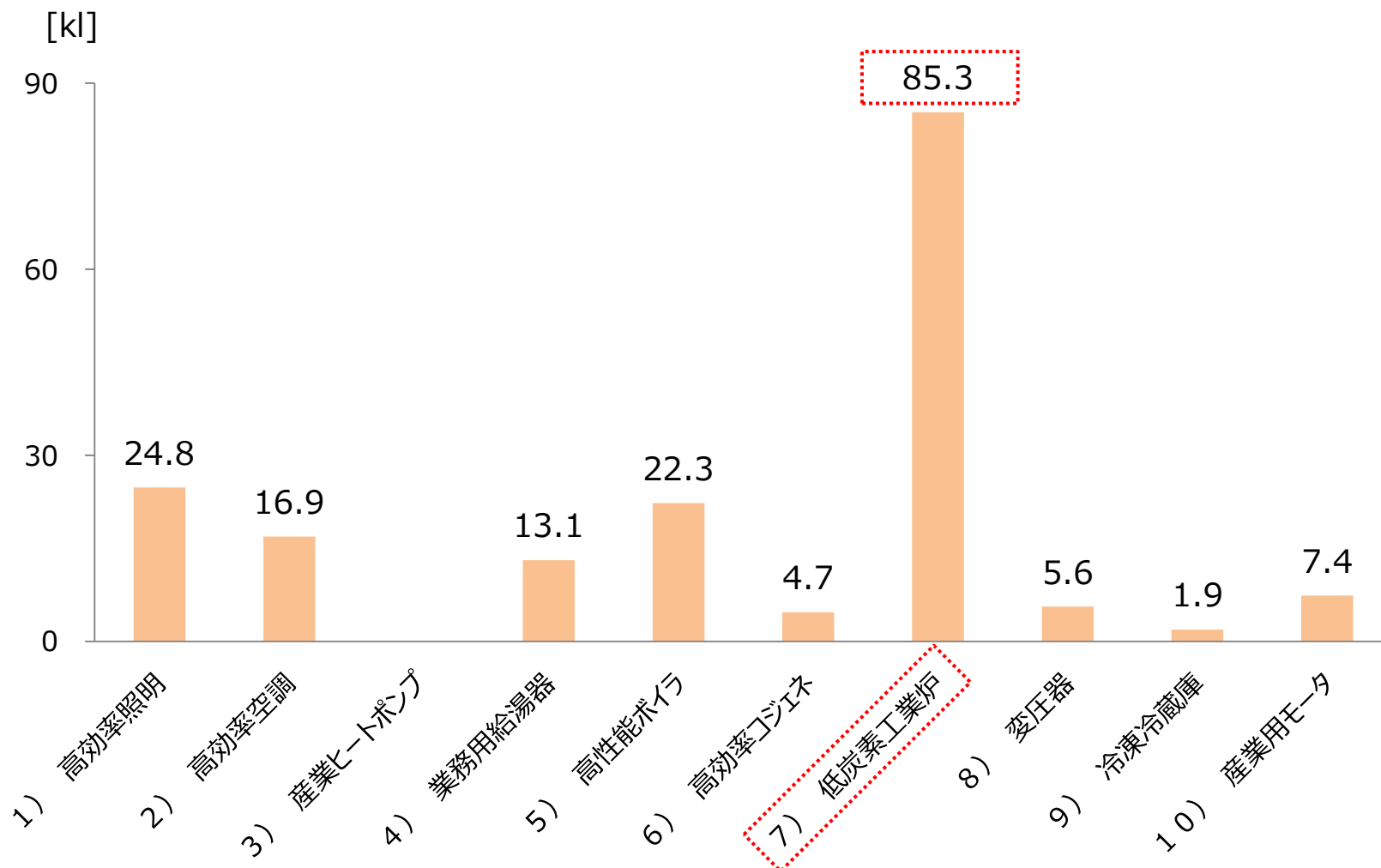


◆高効率照明と、冷凍冷蔵庫の平均省エネルギー率が高い。

※産業ヒートポンプは採択件数が1件であるため、非公開

2-⑥ II.設備単位の設備別平均省エネルギー量

※採択事業ベース



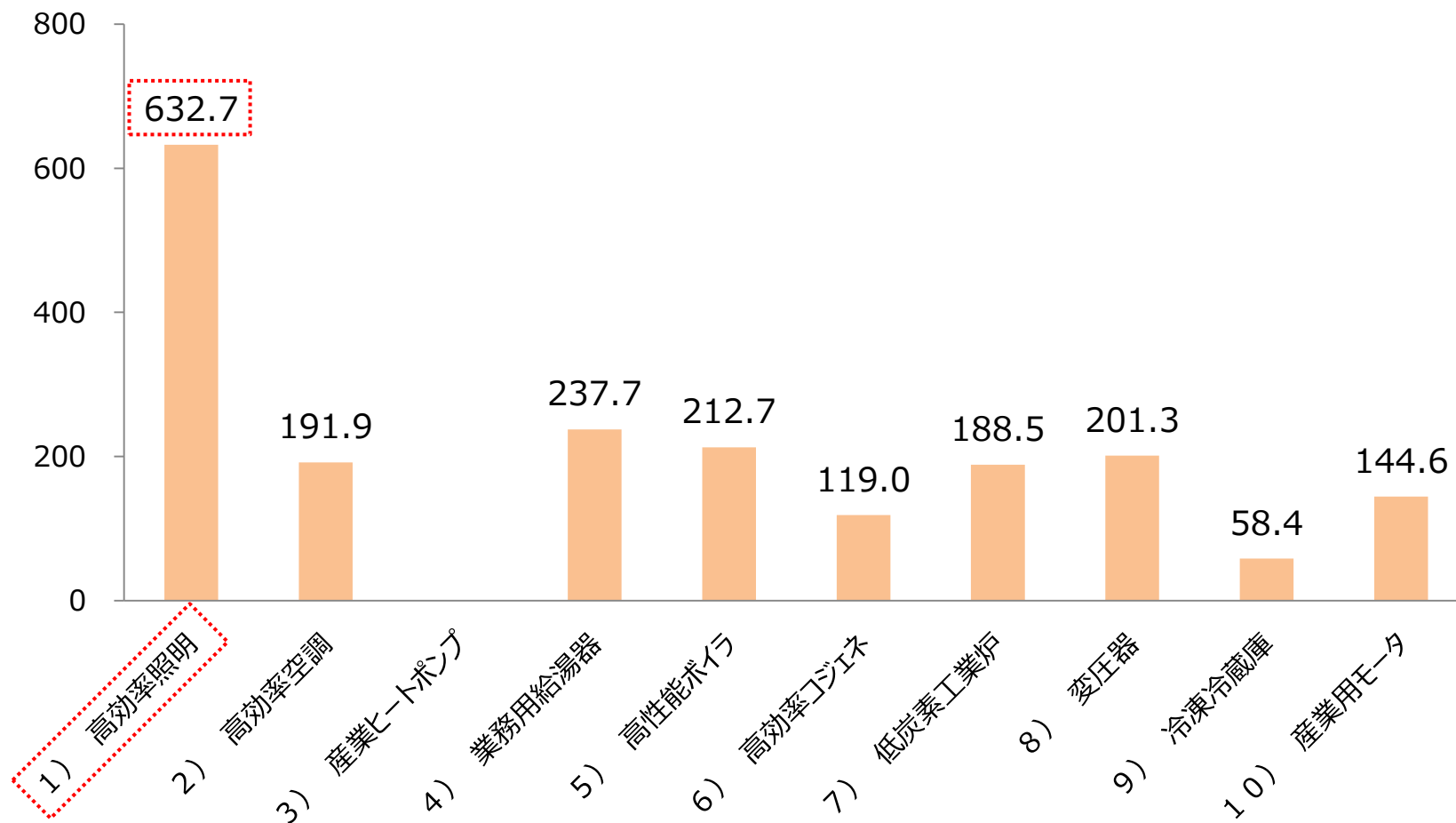
◆低炭素工業炉の平均省エネルギー量が大きい。

※産業ヒートポンプは採択件数が1件であるため、非公開

2-⑦ II.設備単位の設備別平均費用対効果

※採択事業ベース

[kI/千万円]



◆高効率照明の平均費用対効果が高い。

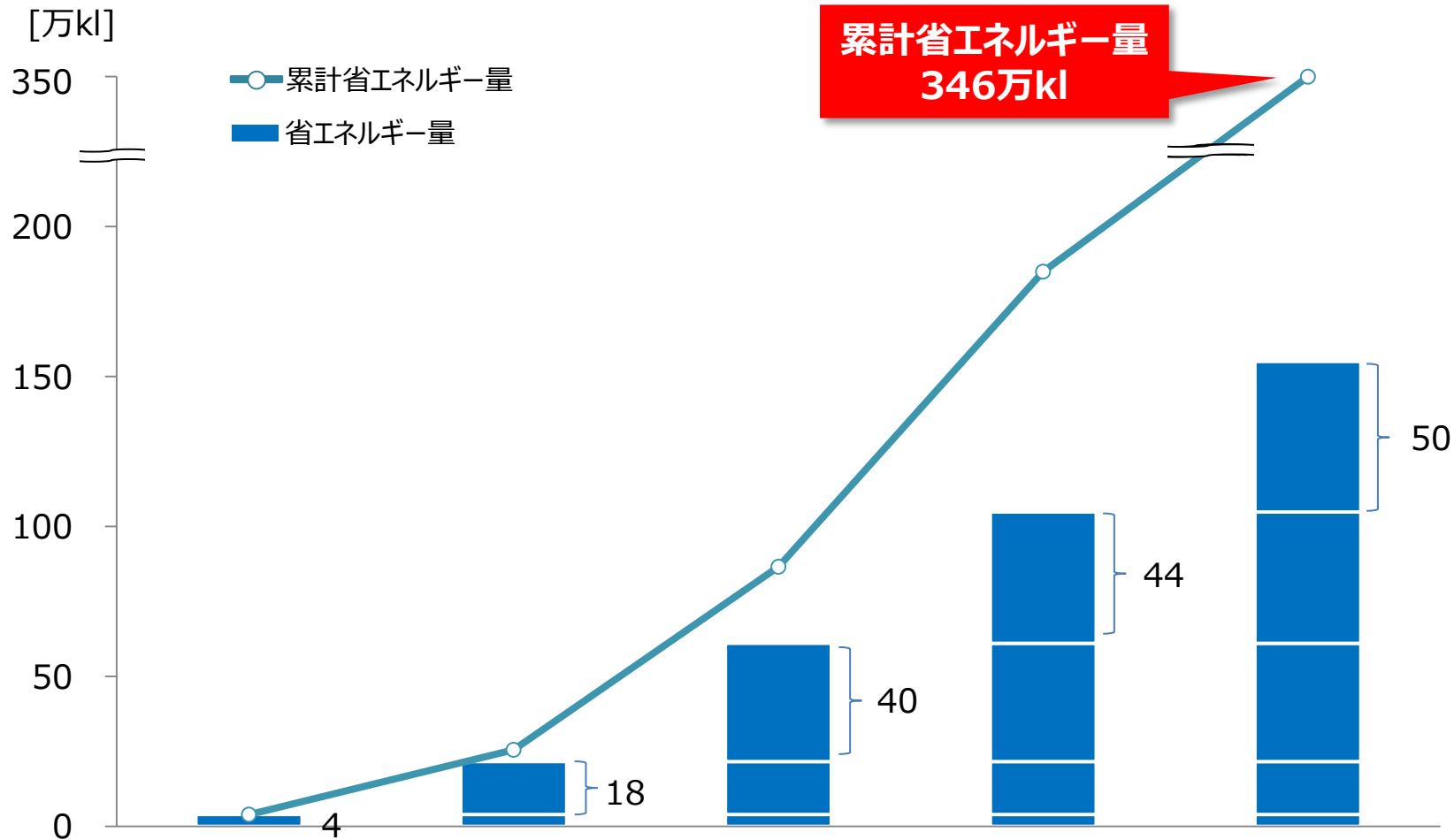
※産業ヒートポンプは採択件数が1件であるため、非公開

3章 実績省エネルギー効果からの分析

- 3-① I.工場・事業場単位の実績省エネルギー量
- 3-② I.工場・事業場単位の業種別構成比
- 3-③ I.工場・事業場単位の業種別実績値
- 3-④ I.工場・事業場単位の業種別平均値
- 3-⑤ I.工場・事業場単位の事業所規模別の平均値

※事業完了後、補助事業者が一年間の省エネルギー量を計測して、SIIへ成果報告を行った数値を集計

3-① I.工場・事業場単位の実績省エネルギー量



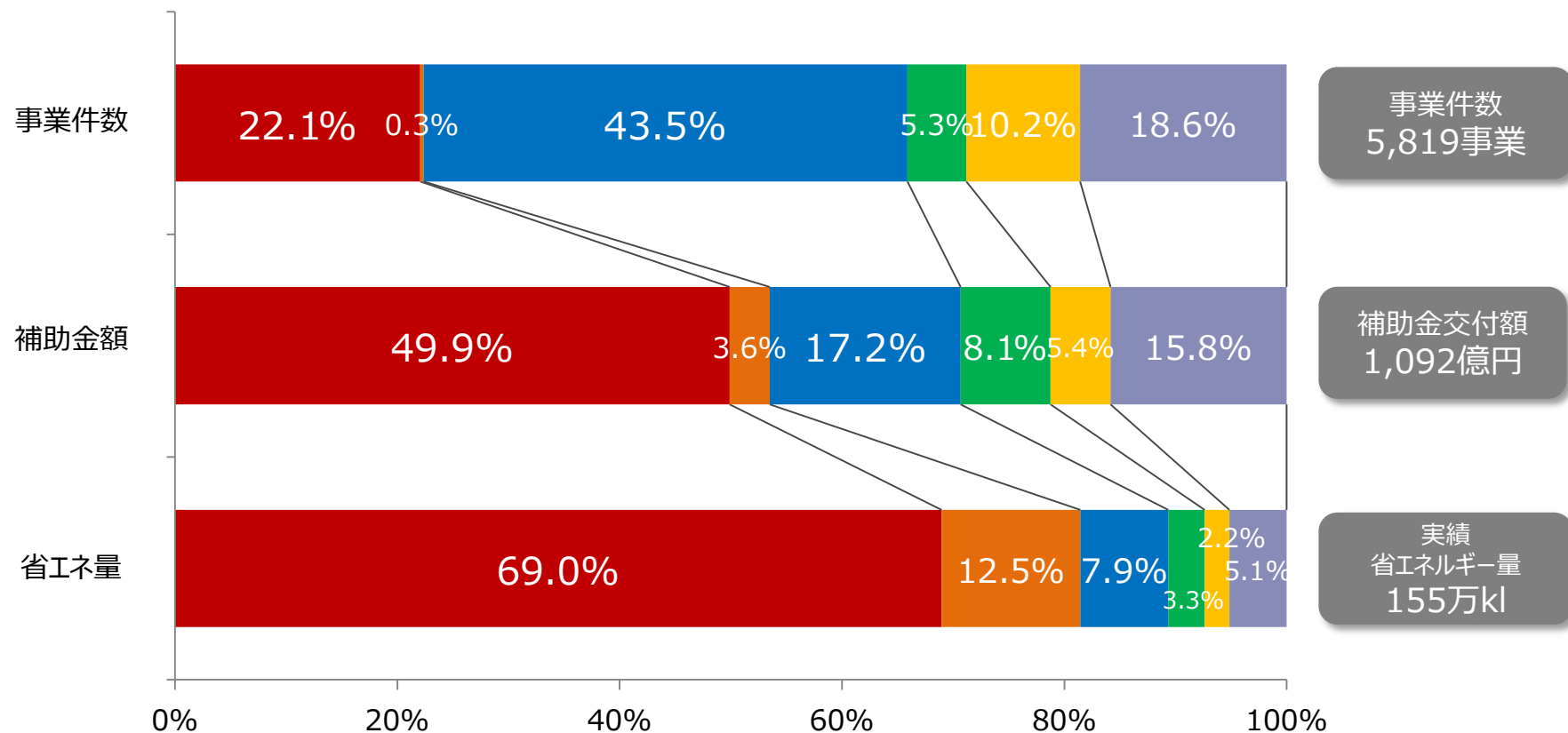
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
省エネルギー量 (万kl)	4	22	61	105	155

※事業完了後、補助事業者が一年間の省エネルギー量を計測して、SIIへ成果報告を行った数値を集計

3-② I.工場・事業場単位の業種別構成比

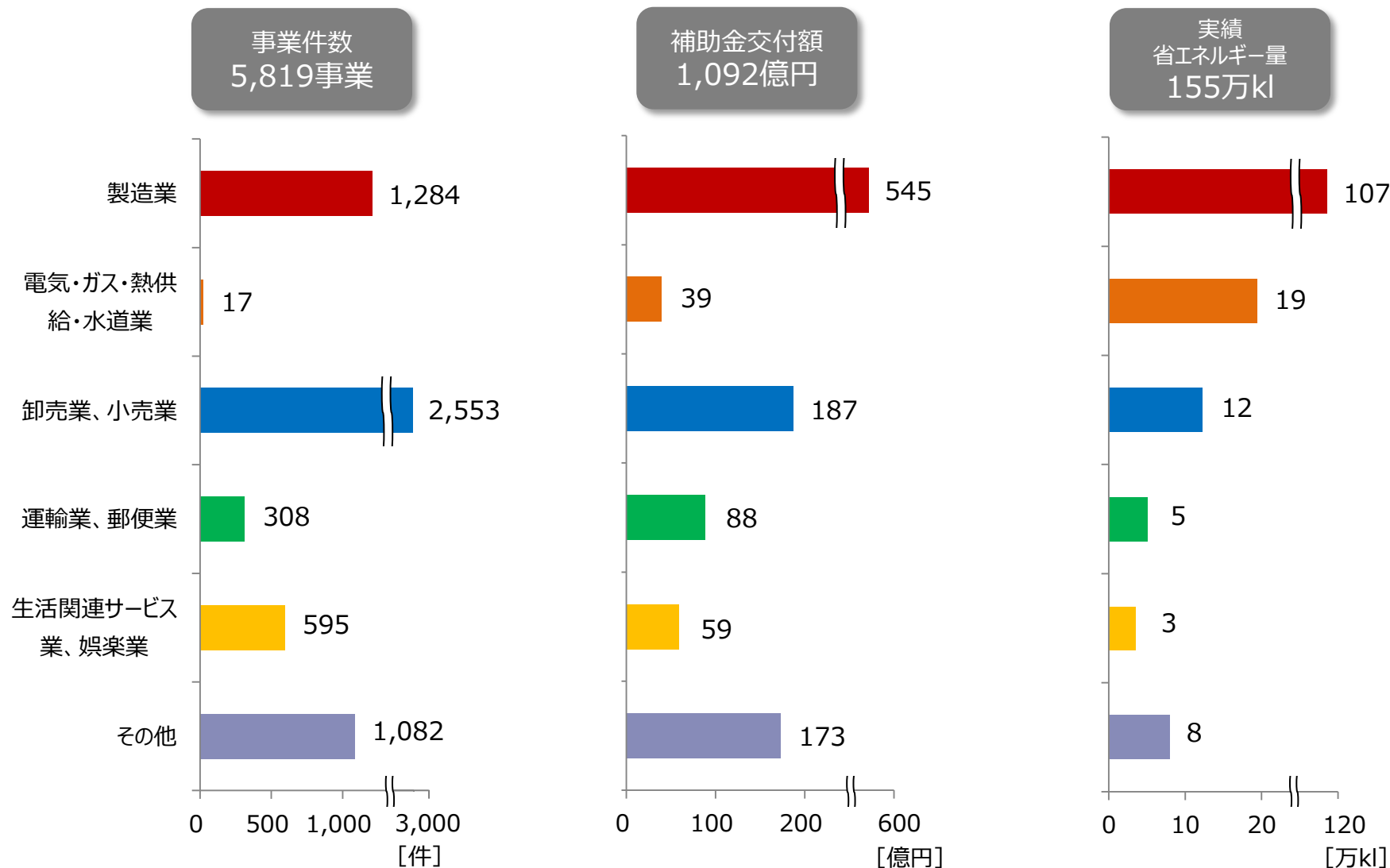
◆業種ごとに分けてみると…

■ 製造業 ■ 電気・ガス・熱供給・水道業 ■ 卸売業、小売業 ■ 運輸業、郵便業 ■ 生活関連サービス業、娯楽業 ■ その他



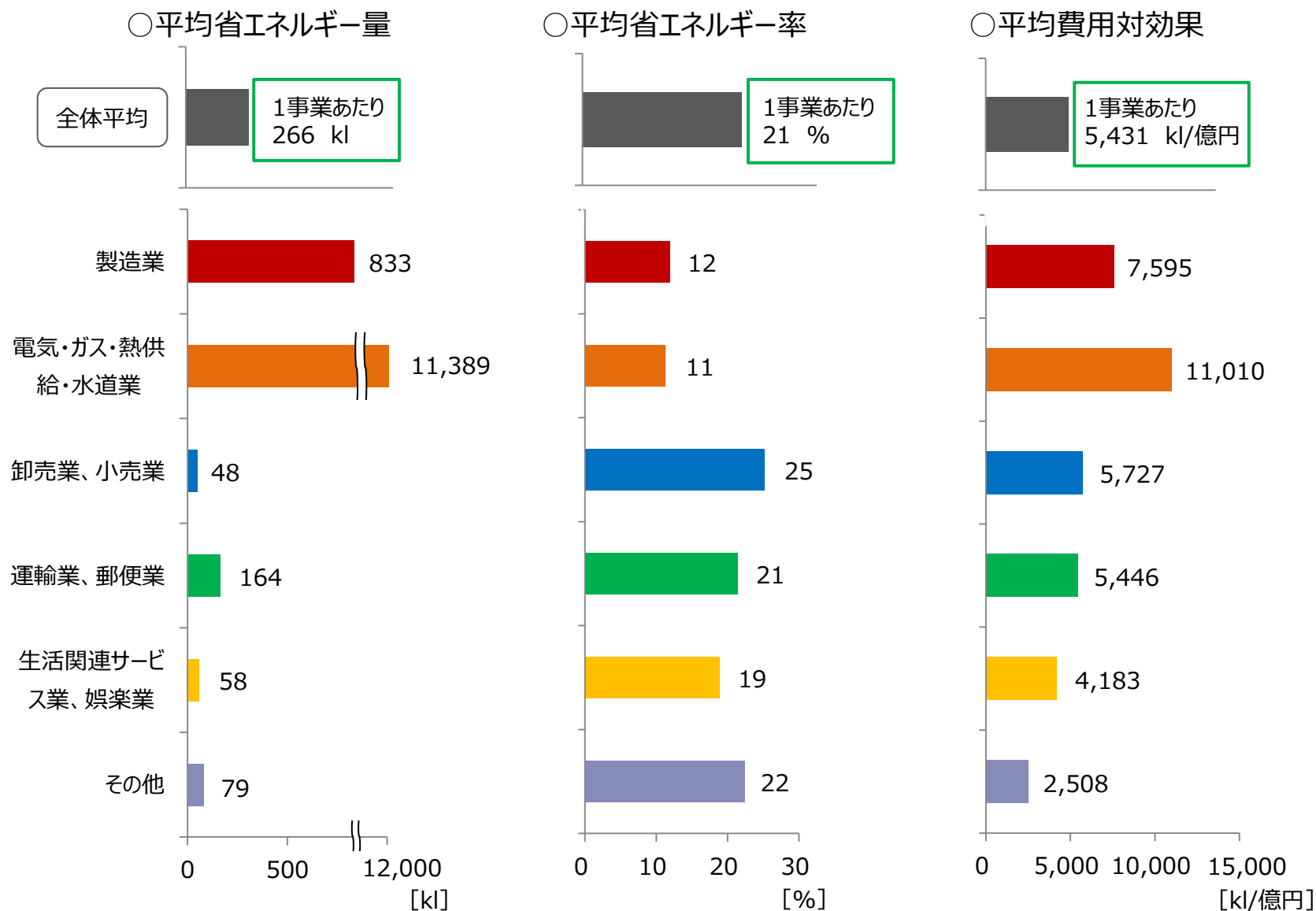
※事業完了後、補助事業者が一年間の省エネルギー量を計測して、SIIへ成果報告を行った数値を集計

3-③ I.工場・事業場単位の業種別実績値



※事業完了後、補助事業者が一年間の省エネルギー量を計測して、SIIへ成果報告を行った数値を集計

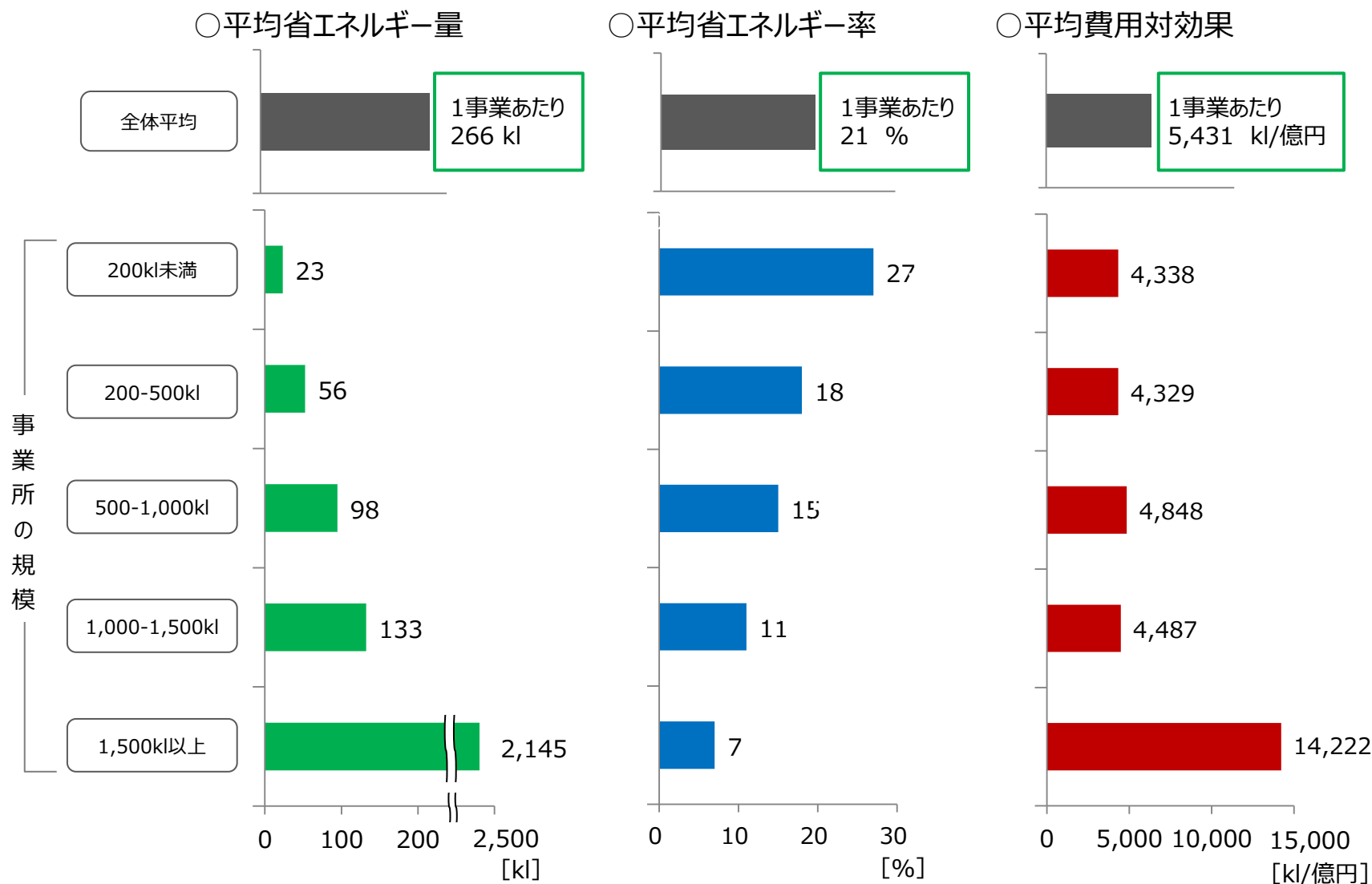
3-④ I.工場・事業場単位の業種別平均値



※事業完了後、補助事業者が一年間の省エネルギー量を計測して、SIIへ成果報告を行った数値を集計

3-⑤ I.工場・事業場単位の事業所規模別の平均値

◆事業所の規模ごとに分けてみると…



※事業完了後、補助事業者が一年間の省エネルギー量を計測して、SIIへ成果報告を行った数値を集計



一般社団法人

環境共創イニシアチブ

Sustainable open Innovation Initiative